

## はじめに

がんは、昭和 57(1982)年以降、本県における死因の第一位であり、令和元年(2019)年のがん死亡者数は 5,691 人と、総死亡者数に占める割合は 25.9%でした。

本県では、平成 21(2009)年 2 月に「岡山県がん対策推進計画」及び平成 25(2013)年 3 月には「第 2 次岡山県がん対策推進計画」を策定し、がん対策を推進してきたところであり、平成 30(2018)年 3 月に策定した「第 3 次岡山県がん対策推進計画」では、「がん予防・がん検診の充実等による死亡の減少」、「全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質(QOL)の維持向上」及び「がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現」を全体目標とし、総合的にがん対策を推進しております。

本県のがん登録事業は、がんの罹患や死亡等の正確な情報を把握するため平成 4(1992)年に「地域がん登録」を開始し、県民のがん罹患や受療、死亡等に関するデータの収集・分析を通じて得られた知見を、様々ながん対策に役立ててきました。

さらに、平成 28(2016)年 1 月には「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、がん情報を全国規模で網羅的に収集する「全国がん登録」が始まりました。このことにより、登録精度の向上、集約の迅速化、分析内容の充実等の効果が期待されています。

今回の報告書では、平成 31(2019)年 1 月から令和元(2019)年 12 月までの罹患状況等を取りまとめました。本報告書が、がん予防、医療活動の評価や疫学研究など、関係各方面の皆様によって幅広く活用され、がん対策の推進の一助となれば幸いです。

最後に、本報告書の取りまとめに当たり、多大な御尽力をいただきました岡山大学病院をはじめ、各医療機関、医師会並びに関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、「県民が、がんを知り、がんと向き合い、がんになっても自分らしく生き抜くことのできる岡山県」の実現に向けて、がん登録事業へ引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 4 (2022)年 12 月

岡山県保健福祉部長 徳本 史郎